ブリッジ・データ・プロ
(N)説明書

目次

BridgeDataPro の特徴・・・・・・・・・・・・・・・ 2
１．メイン画面の操作・・・・・・・・・・・・・・・ 3
２．データ入力画面（ハンドとビッド経緯入力)・・・ 5
３．データ入力画面（コントラクトのみ入力)・・・ 7
４．「10 進キー」のみでの簡便入力 ・・・・・・・・ 9
５．その他の参照画面・・・・・・・・・・・・・・・ 10
６．戦績表確認画面・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
７．ペア別戦績表・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
８．印刷・ファイル作成画面・・・・・・・・・・・・ 14
９．Howell Movement の登録と選択・・・・・・・・・ 16
１０．クラブとメンバ登録・・・・・・・・・・・・・ 17
１１．パッドファイル作成・・・・・・・・・・・・・ 18
１２．その他のファイルインポートとエクスポート・・ 19
１３．BridgeDataPro のインストールと実行・・・・・ 21
１４．パッドファイルの表示と印刷（参考)・・・・・・21

平成 25 年 2 月 11 日　改版 10

BridgeDataPro の特徴

本プログラムは、川崎市麻生区の「麻生カードゲーム研究会」で使用し、改良を加えて使っています。地域のコミュニティセンターなどで、デュプリケート・ブリッジを楽しんでおられるサークルのプレイ結果報告に最適です。

１．各ボードのハンドデータ、ビット経緯、結果（メイク・ダウン)、オープニングリードを入力し、ハンドとビット経緯データ、マッチポイントでの総合成績表、ペア別戦績表を自動計算して、プリントできます。なお、ＩＭＰも可能にしました。

２．最大登録可能会員数は９９９人、会合毎の最大ボード数は４０、最大ペア数は２０（４０人）です。

３．ハンドデータ、ビット経緯、結果（メイク・ダウン)、オープニングリード等のデータは、ＰＣの１０進キーのみで入力できます。ノートＰＣ等の場合は、外付けの１０進キーを使用される事をお薦めします。ビット経緯を記入していないプレイなどは、トラベリングシートのみでのデータ集計も可能です。

４．入力したデータは、保存を意識すること無く、自動的に保存します。各プレイ毎のボード数、ペア数を自動的に判定します。ペア数が奇数の時の「休み」、時間切れ等での「不戦」の場合の処理も自動的に行います。また、自動計算された総合戦績表を任意に修正して印刷する事も可能です。

５．幾つかのハウエルムーブメントを既に登録してあります。他に、新しいムーブメントの新規登録も可能です。それによって、ビットシートやトラベリングシートからのデータ入力が楽になります。

６．プレイ結果をエクスポートして、そのファイルをインターネットなどで、会員に配送する事が可能です。受信したファイルをインポートして、プレイ結果を表示したり、印刷したりできます。他に、汎用のエディタで表示・印刷可能なファイルの作成も可能にしました。その場合、インストールしたホールダの「パッドファイルの表示と印刷.doc」ファイルを会員に添付して、読んでもらって下さい。

７．プログラムで自動シャッフルしたハンドを作成できます。また、JTOS プログラムで作成したハンドや JCBL のホームページにある大会のハンドをインポートする事も可能です。

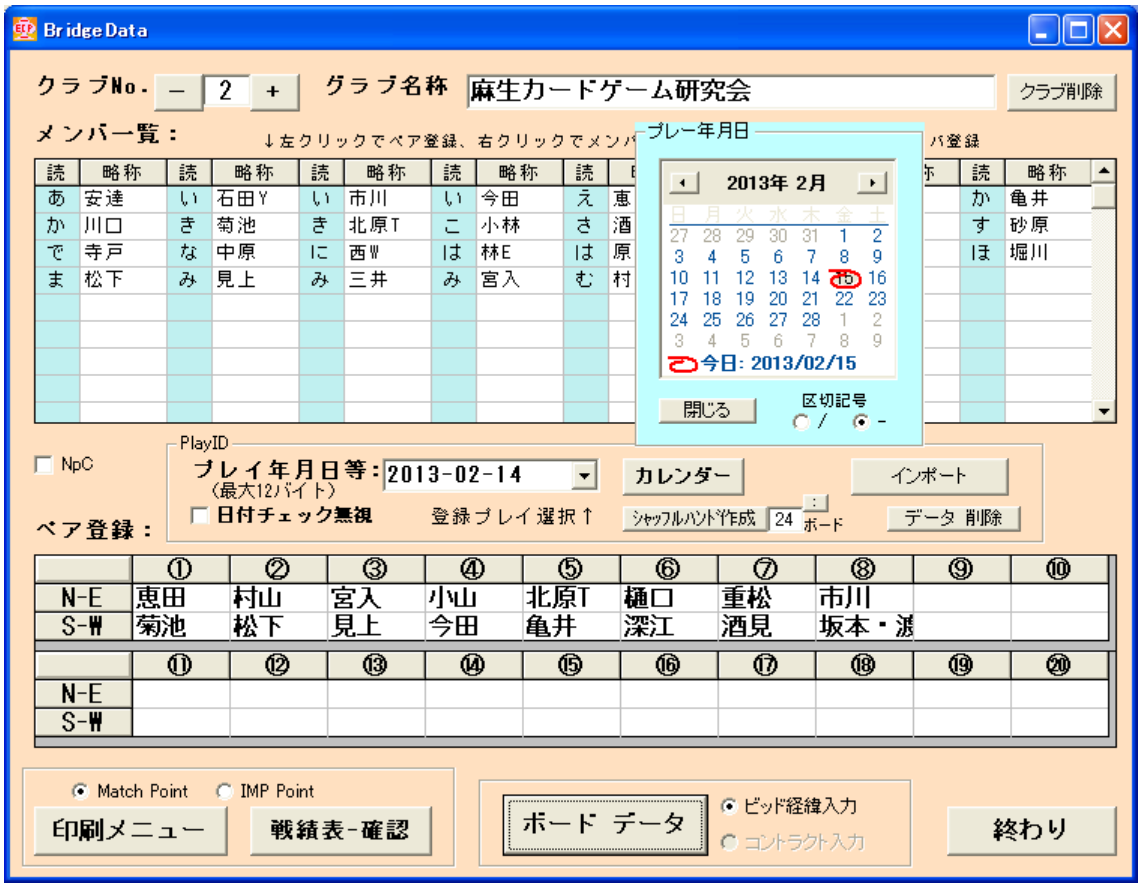
８．クラブのメンバ表やハウエルムーブメントのファイルを作成し、電子メールに添付して会員に配布する事も可能です。

９．各ボードのハンドデータなどを出力し、市販の「Micro Bridge（内田富夫、内田由美子氏作成)」の専用データの作成もできます。

なお、本プログラムの作成にあたり、いろいろとご要求やご意見を下さいました麻生カードゲームの岸本さん他の皆様に感謝します。

１．メイン画面の操作

BridgeDataPro.exe を実行すると下図の画面が表示されます。なお、立上当初はクラブとメンバ一覧のみ記入されています。



１）ラブ No を変更すると、登録してあるクラブ名とメンバ一覧が表示されます。クラブの変更は、「＋」、「－」のボタンをクリックするか、テキストボックスにクラブ番号を入力し、リタンキーを押します。クラブの新規登録は、「１０．クラブとメンバ登録」で後述します。

２）「Play ID」として、プレイ年月日等を入力します。プレイ年月日の入力は、テキストボックスに直接「yyyy-mm-dd」の 10 桁を入力するか、「カレンダ」ボタンをクリックして、カレンダボックスから選択することもできます。なお、「日付チェック無視」にチェックがある場合は、最大１２桁の任意の英数字が入ります。

３）ペア登録を行います。「ペア登録表」の「①ペア、N-E」をクリックして、カーソル（黒枠）を合わせます。「メンバー一覧」の略称（戦績表の氏名として使用）欄を順次クリックします。または、ペア登録は「ペア登録表」に直接キー入力する事でも可能です。3 人組等の場合も直接入力します。表からはみ出しても、全角 6 文字まで印刷できます。なお、「メンバー一覧」の空色の欄は、「かな読み」の最

初の文字です。

４)「ボードデータ」ボタンをクリックすると、「ビッド経緯入力」にチェックした場合、次の「２．データ入力画面（ハンドとビッド入力)」を表示します。「コントラクト入力」にチェックをした場合は、「３．データ入力画面（コントラクトのみ入力)」を表示します。

５）なお、入力したプレイ年月日のボードデータが既に登録されている「プレイ年月日等」のデータの場合は、その時のペア登録が表示されます。「印刷メニュー」「戦績表－確認」が実行できます。また「ボードデータ」から登録済のデータの表示、修正が行えます。なお、既にプレイデータ（ビット経緯かコントラクト）が入力されている場合は、「ビット経緯」と「コントラクト入力」の変更はできません。

６)「プレイ年月日等」の下矢印をクリックすると、最近の 999 回のプレイをリスト表示しますので、この中の「プレイ年月日等」を選択しクリックすると、そのプレイデータを表示、修正、印刷できます。

７)「インポート」をクリックすると、ファイル選択ダイアログが表示され、選択したファイルをデータベースに移入できます。このファイルは、本プログラムの「印刷メニュー」→「エクスポート」で作成した「プレイ年月日等」＋「.TxT」のファイルです。電子メール等の添付ファイルとして送られてきたファイルの場合、メールソフトで、一旦適当なディレクトリに保存した後、本プログラムの「インポート」で、その保存ファイルを選択します。
　また、後述の「メンバ登録画面」や「ハウエル画面」で出力したファイルや外部のハンドデータをインポートできます。「１２．その他のファイルインポートとエクスポート」を参照して下さい。

８)「データ削除」をクリックすると、「プレイ年月日等」に表示してあるプレイの「ペア」「ハンド」「ビッド」の全てのデータを削除します。

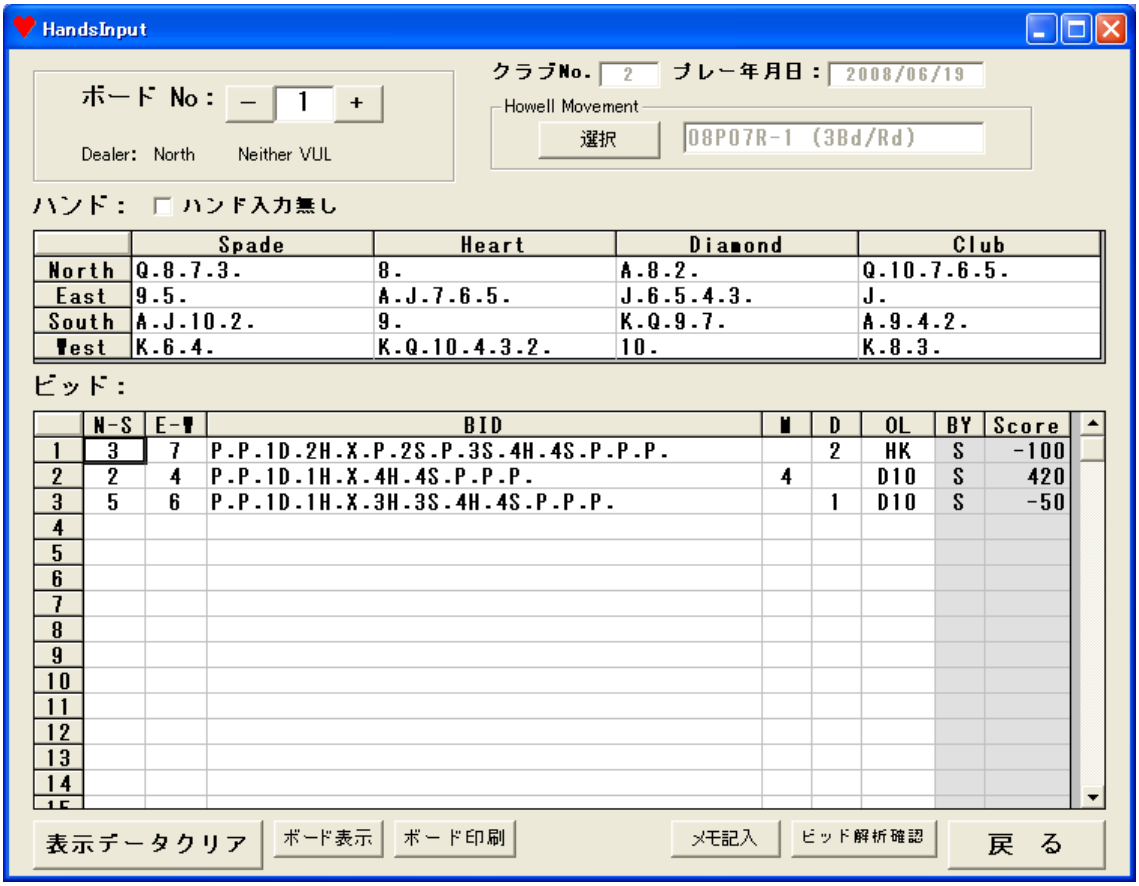
９)「クラブ削除」をクリックすると、表示中のクラブの「メンバ一覧」、および、そのクラブで登録してある全てのデータ（「メンバ」「ペア」「ハンド」「ビッド」）を削除します。なお、「Howell」テーブルは残ります。

１０)「戦績表-確認」ボタンについては「６．戦績表確認画面」、「印刷メニュー」ボタンににについては「８．印刷・ファイル出力画面」を参照して下さい。

１１）「シャッフルハンド作成」ボタンをクリックすると、本プログラムで自動シャッフルした新規のハンドを「プレイ年月日等」をキーとして作成します。そのボタンの横にあるテキストボックスにはデフォルトで「24」と入っていますが、この値を変更すると作成するボード数を変更できます。

１２）「終わり」ボタンをクリックすると本プログラムを終了します。

２．データ入力画面（ハンドとビッド経緯入力）



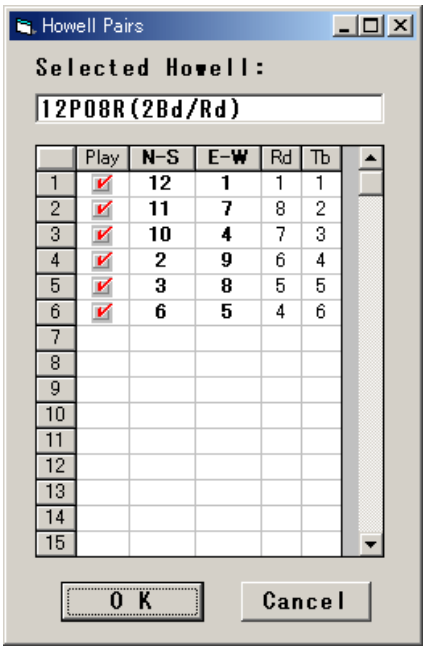
１）「ボード No」の１番ボードから順次「ハンド」表と「ビッド」表にデータを入力します。

２）「ハンド」の入力は、上のサンプルの様に、「Spade」「Heart」「Diamond」「Club」の欄と、「North」「East」「South」「West」の行に、「AKQJ1098765432」のカードを「.」で区切って入力しますが、後述する簡便法で「10 進キー」のみで入力する事も可能です。なお、ハンドデータを入力しない場合や既にハンドデータが入力されている場合、「ハンド入力無し」にチェックすると便利です。

３）「ビッド」表は、「N-S」「E-W」のペア番号欄に、前画面でペア登録した番号を入

力します。「BID」には、ディーラから順次「1C」から「7NT」のビッド、パスの「P」、ダブルの「X」、リダブルの「XX」を「.」で区切って入力しますが、後述する簡便法で「10 進キー」のみで入力する事も可能です。Make の場合「M」の欄に、Down の場合「D」の欄に値を入力します。次に「OL」欄にオープニングリードを入力しますが、この欄も後述する簡便方が使えます。「BY」欄にディクレアラーのサイドと「Score」欄にはデュプリケート シカゴ得点表によるスコアを自動計算して表示します。同様に、順次、別のペアのデータを入力します。

４）「Howell Movement」の「選択」をクリックし、適切な「Howell Movement」を選択しておくと、ハンド表の最後の欄（「West」の「Club」）で「リタン」キーを押した時に、「N-S」「E-W」の欄に入るべきペア番号をテーブル番号順に自動入力します。なお、途中で、下図の「ペア確認画面」を表示しますので、対戦していないテーブルのペアが有る場合は、「Play」のチェックを外して下さい。



５）「ビッド解析確認」ボタンをクリックすると、スコア計算時の解析結果を表示します。

６）「ボード印刷」をクリックすると、表示しているボードのみのデータをプリントします。

７）「ボード表示」をクリックすると、全てテキスト（文字）のボードデータを表示します。Windows の基本機能である「コピー&ペースト」操作などにより、メール画面等に張付けることができます。

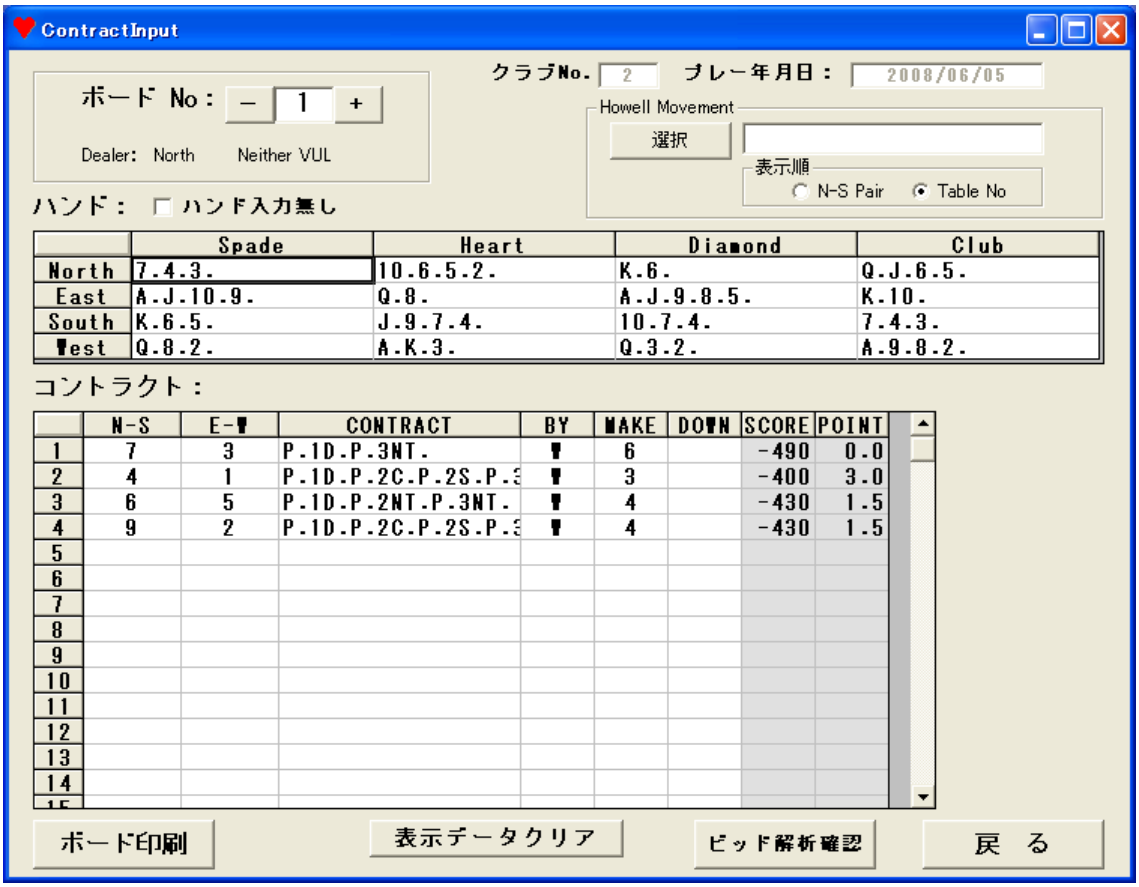
８）あるボードの入力が終わると、「＋」ボタンをクリックして、次のボードの入力を行います。「－」ボタンをクリックして前のボードに戻るとか、ボード No のテキストボックスに直接数字を入力してリタンキーを押して、特定のボードに移る事もできます。また、「N-S」のペア番号が空白の所で、リタンキーを入力すると、自働的に次のボードの入力画面になります。

９）「表示データクリア」ボタンをクリックすると、表示中のボードの「ハンド」と「ビッド」の表をクリアします。

１０）「メモ記入」をクリックすると、「メモ記入画面」を表示し、そのボードに関するメモを記入できます。その操作については、「５．その他の画面　５．１メモ記入画面」を参照して下さい。

１１）「戻る」をクリックすると、「メイン画面」に戻ります。

３．データ入力画面（コントラクトのみ入力）



１）「ボード No」の１番ボードから順次「ハンド」表と「コントラクト」表にデータを入力します。なお、「ハンド入力無し」にチェックが有ると、コントラクトのみの

入力モードになります。

２）「ハンド」の入力は、上のサンプルの様に、「Spade」「Heart」「Diamond」「Club」の欄と、「North」「East」「South」「West」の行に、「AKQJ1098765432」のカードを「.」で区切って入力しますが、後述する簡便法で「10 進キー」のみで入力する事も可能です。

３）「コントラクト」表は、「N-S」「E-W」のペア番号欄に、前画面でペア登録した番号を入力します。「Contract」には、「1C」から「7NT」のコントラクト、ダブルの「X」、リダブルの「XX」を入力しますが、後述する簡便法で「10 進キー」のみで入力する事も可能です。「By」の欄にディクレアラーの「Ｎ」、「Ｅ」、「Ｓ」、「W」を入力しますが、後述する簡便法で入力する事も可能です。Make の場合「Make」の欄に、Down の場合「Down」の欄に値を入力します。「Score」欄にはデュプリケート シカゴ得点表によるスコアを、「Point」欄にマッチポイントを自動計算して表示します。同様に、順次、別のペアのデータを入力します。

４）「Howell Movement」パネルの「選択」をクリックし、適切な「Howell Movement」を選択しておくと、「N-S」「E-W」の欄に入るべきペア番号をコントラクト表に記入します。記入順として「テーブル順」「N-S ペア順」のいずれかを選択できます。途中で、「ペア確認画面」を表示しますので、対戦していないペアが有る場合は、「Play」のチェックを外して下さい。画面は、「２．データ入力画面（ハンドとビッド入力)」の４）と同じです。

５）あるボードの入力が終わると、「＋」ボタンをクリックして、次のボードの入力を行います。「－」ボタンをクリックして前のボードに戻るとか、ボード No のテキストボックスに直接数字を入力してリタンキーを押して特定のボードに移る事もできます。また、コントラクト表の「N-S」番号が空白の所で、リタンキーを入力すると、自働的に次のボードの入力画面になります。

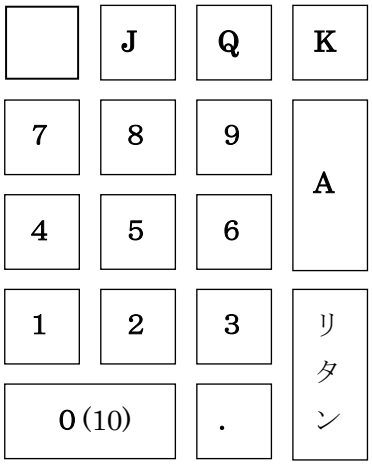
６）「ビッド解析確認」ボタンをクリックすると、スコア計算時の解析結果を表示します。

７）「ボード印刷」をクリックすると、表示しているボードデータをプリントします。

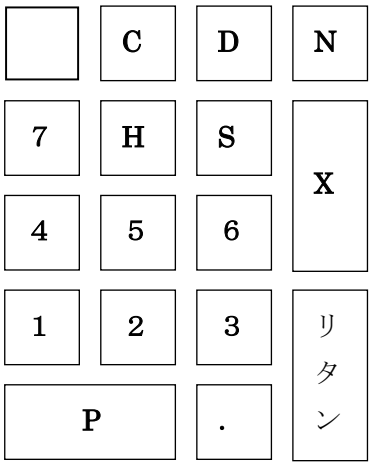
８）「戻る」をクリックすると、「メイン画面」に戻ります。

４．「10 進キー」のみでの簡便入力

１）「ハンド」入力の場合、10 進キーは下図の様に扱われます。間を「.」で区切る必要はありません。なお、ビッド表の「OL」の第 2 文字目もこの表を使います。



２）「ビッド」表の「BID」欄と「コントラクト」表の「CONTRACT」欄の入力の場合、10 進キーは下図の様に扱われます。間を「.」で区切る必要はありません。なお、ビッド表の「OL」の第 1 文字目もこの表を使います。

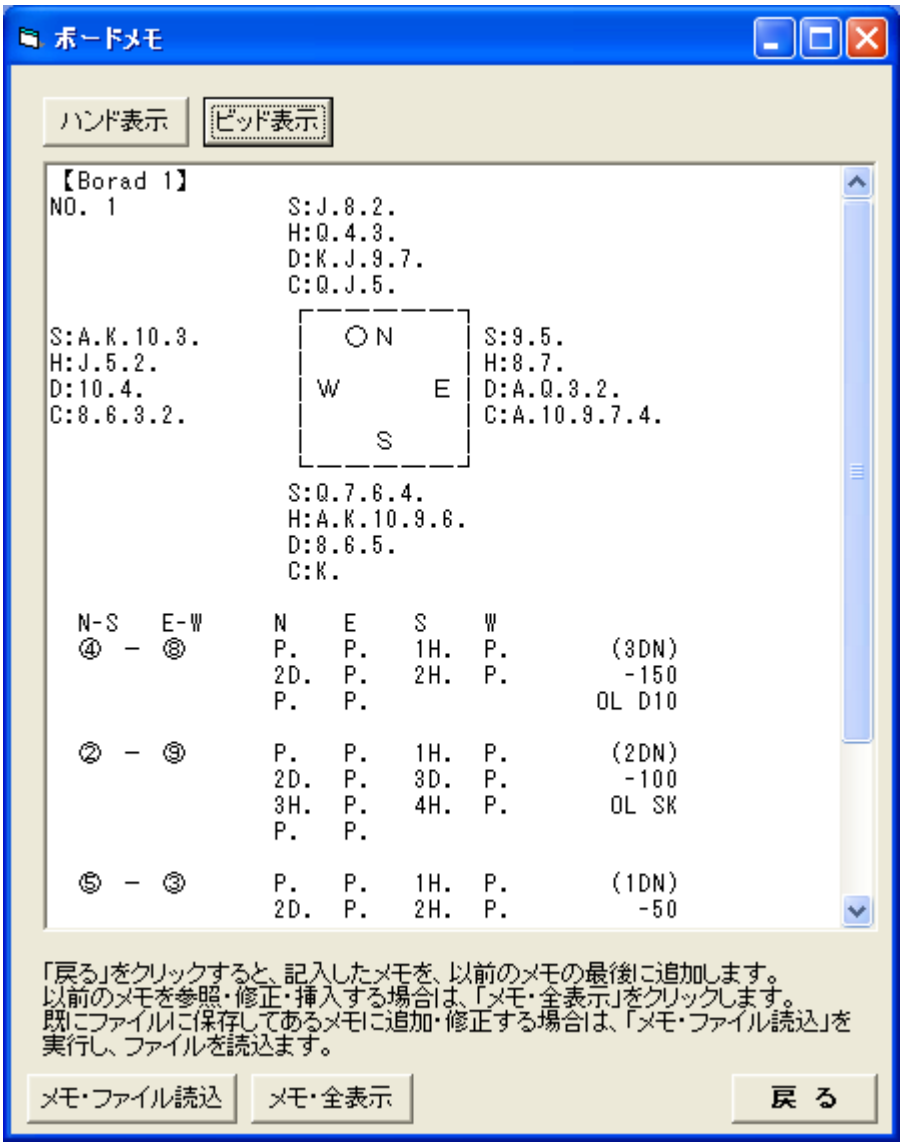


1) コントラクト表の「BY」欄も、同様に 10 進キーが次の様に割当ててあります。「N」は数字の「8」キー、「E」は数字の「6」キー、「S」は数字の「2」キー、「W」は数字の「4」キーがそれぞれ対応します。

（図は省略）

5.　その他の参照画面

５．１　メモ記入画面



- メモ記入」画面でメモの記入が可能です。この画面を開いた時のボード番号「x」が、【Board x】と記入されています。不要の場合は削除して下さい。
- 「ハンド表示」をクリックすると、上の図の様なハンド関連情報を表示します。「ビッド表示」をクリックすると、上の図様なビッド関連情報を表示します。必要に応じて使用して下さい。
- 「メモ・ファイル読込」をクリックすると、以前に保存したメモファイルを読み込みます。「メモ・全表示」をクリックすると、以前のボードで記入した全てのメモを表示します。
- 「戻る」をクリックすると、「メモ・ファイル読込」や「メモ・全表示」を行った場合は、全てを保存し、それ以外の場合は、以前のメモに追加し、ボードデータ入力画面に戻ります。

６．戦績表確認画面

１）「メイン画面」で、「戦績表－確認」ボタンをクリックすると、下図の戦績表を表示します。

			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	亀井	中原	2	1	1	1	2	3	2.5	1	3	0	0.5	2.5
2	重松	小山	0.5	3	2	2.5	0	1	2.5	1	1.5	1	0.5	3
3	林 E	北原(武)	0	3	3	0	3	0	0.5	2	0	1	2.5	2
4	渡辺	宮入	3	0	0	0.5	2	1	0.5	0	1.5	2	2.5	0
5	石田	原	1	2	2	2.5	1	2	0.5	0	0	2	2.5	2.5
6	奥隅	菊池	0.5	2	3	0.5	3	2	2.5	3	3	3	2.5	0.5
7	見上	堀川	2.5	1	0	2	1	0	0.5	2	1.5	2	0.5	1
8	市川	深江砂原	2.5	0	1	3	0	3	2.5	3	1.5	1	0.5	0.5

			13	14	15	16	17	18	%	Rank	SUM	ADJ	TOTAL	DIF
1	亀井	中原	2	2.5	3	3	3	0	61.1	Ⅱ	33		33	6
2	重松	小山	1	0.5	0	1	2	1	44.4	⑥	24		24	-3
3	林 E	北原(武)	0	2.5	1	2	1	2	47.2	Ⅳ	25.5		25.5	-1.5
4	渡辺	宮入	3	0.5	0	3	1	0	38.0	⑧	20.5		20.5	-6.5
5	石田	原	3	0.5	2	2	3	2	56.5	Ⅲ	30.5		30.5	3.5
6	奥隅	菊池	2	2.5	1	0	2	3	66.7	Ⅰ	36		36	9
7	見上	堀川	0	2.5	3	1	0	1	39.8	⑦	21.5		21.5	-5.5
8	市川	深江砂原	1	0.5	2	0	0	3	46.3	Ⅴ	25		25	-2

２）ボード数が 20 以上になると、上記画面の２つの表では入りきれませんが、「表切換」ボタンをクリックすると、それ以降の２つの表を表示します。

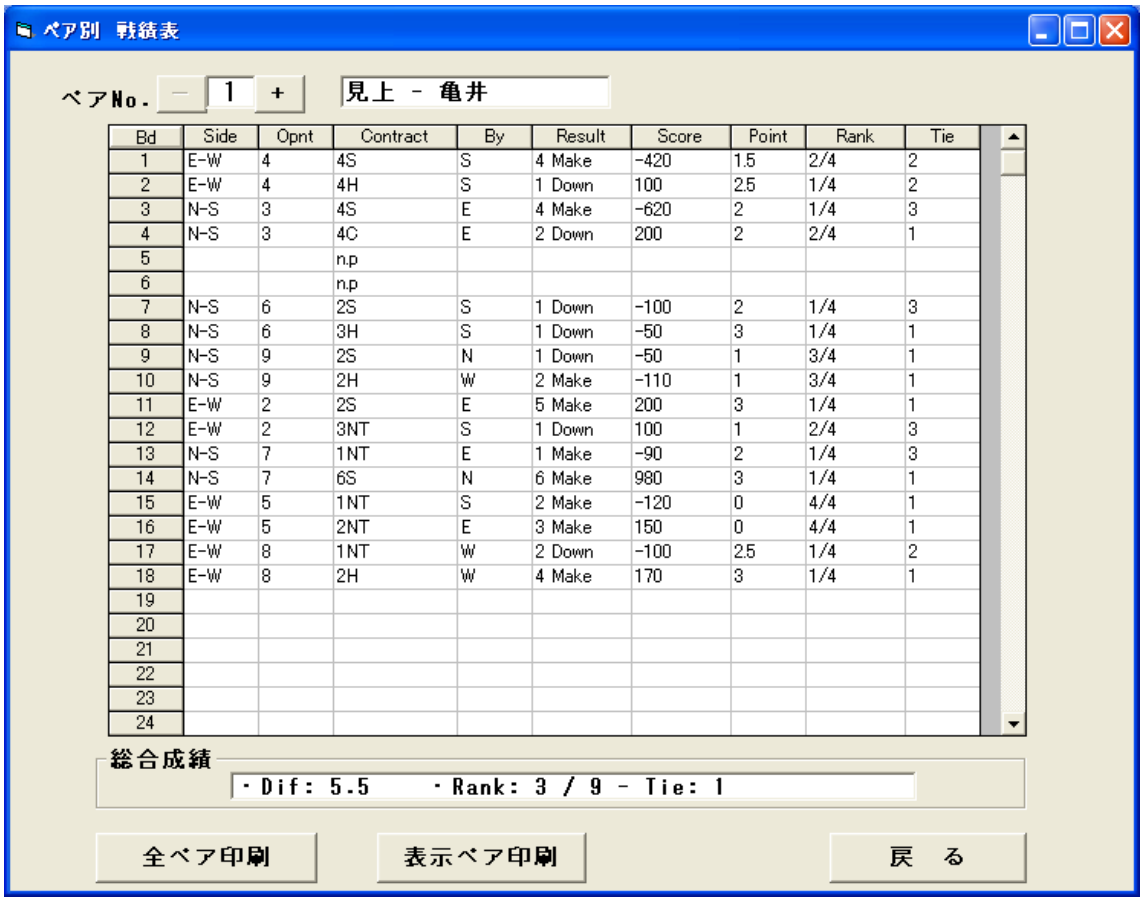
３）「戦績表印刷」をクリックすると、「戦績表」を印刷します。なお、この画面の「戦績表印刷」のみは、画面の戦績表、および、クラブ名、日付などの内容を変更した場合、変更した内容通りのプリントをします。ただし、変更内容は保存しませんので、メイン画面に戻って、再表示すると元の自動計算の値に戻ります。

５）「戻る」をクリックすると「メイン画面」に戻ります。

備考:ボード毎の各欄には、データ入力画面のボード毎のマッチポイントが入ります。プレイしていないペアの欄には「-」が入ります。マッチポイントを加算した値が「SUM」欄になります。次に、ペア毎にプレイしたボードの平均マッチポイントを加算し、その値が最低のペアより大きいペアは、その差分を「ADJ」欄に計算し調整します。調整した結果が「TOTAL」欄になります。平均マッチポイントとの差分が「DIF」欄にな

ります。「Rank」欄には順位が、「%」欄には取得ポイント比率（取得ポイント／取得可能ポイント）が入ります。なお、メイン画面で「IMP POINT」にチェックして有る場合は、IMP ポイントで集計します。

７.ペア別戦績表



Bd	Side	Opnt	Contract	By	Result	Score	Point	Rank	Tie
1	E-W	4	4S	S	4 Make	-420	1.5	2/4	2
2	E-W	4	4H	S	1 Down	100	2.5	1/4	2
3	N-S	3	4S	E	4 Make	-620	2	1/4	3
4	N-S	3	4C	E	2 Down	200	2	2/4	1
5			n.p						
6			n.p						
7	N-S	6	2S	S	1 Down	-100	2	1/4	3
8	N-S	6	3H	S	1 Down	-50	3	1/4	1
9	N-S	9	2S	N	1 Down	-50	1	3/4	1
10	N-S	9	2H	W	2 Make	-110	1	3/4	1
11	E-W	2	2S	E	5 Make	200	3	1/4	1
12	E-W	2	3NT	S	1 Down	100	1	2/4	3
13	N-S	7	1NT	E	1 Make	-90	2	1/4	3
14	N-S	7	6S	N	6 Make	980	3	1/4	1
15	E-W	5	1NT	S	2 Make	-120	0	4/4	1
16	E-W	5	2NT	E	3 Make	150	0	4/4	1
17	E-W	8	1NT	W	2 Down	-100	2.5	1/4	2
18	E-W	8	2H	W	4 Make	170	3	1/4	1
19									
20									
21									
22									
23									
24									

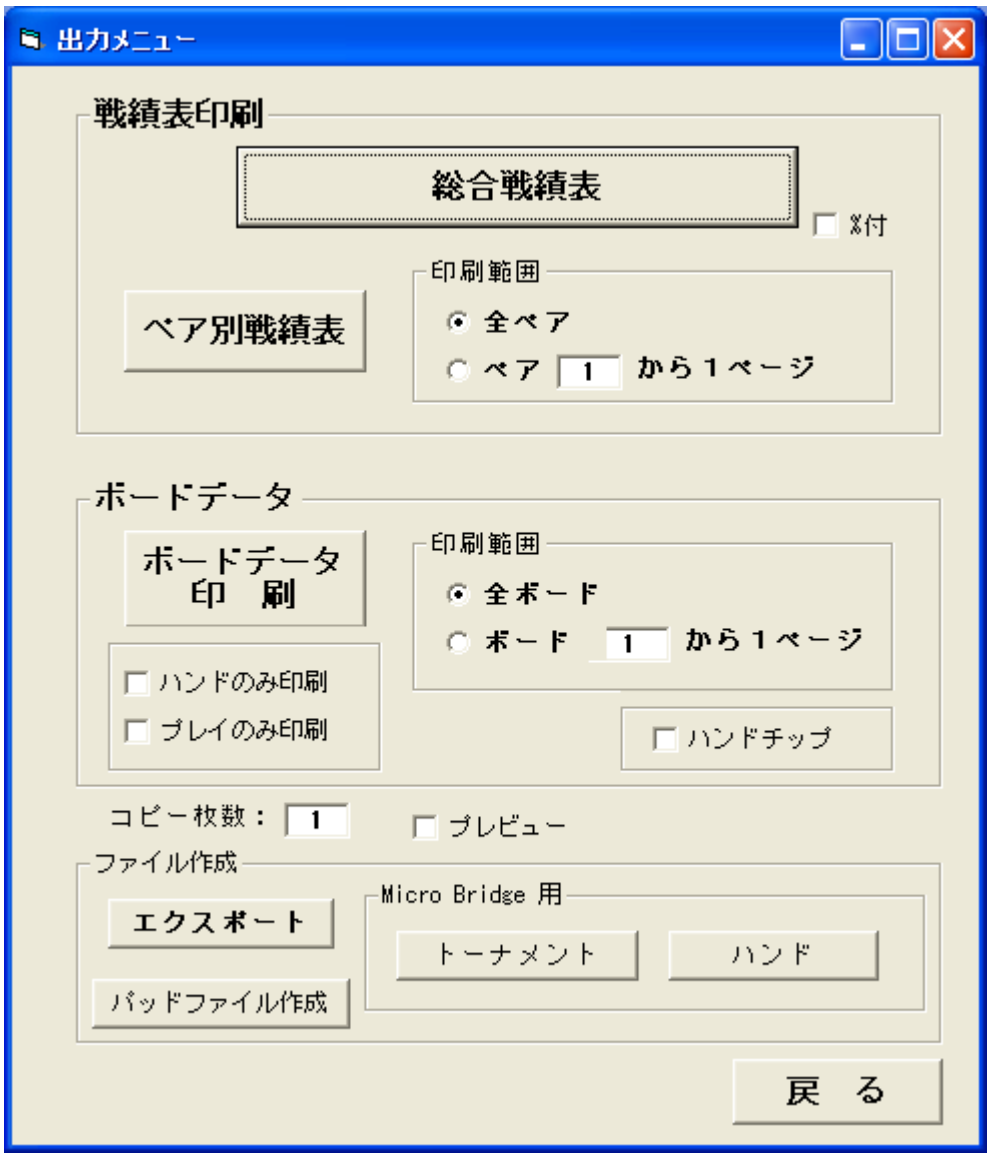
１）「ペア No」のテキストボックスに、ペア番号を入力しリタンキーを押すか「－」「＋」ボタンでペア番号を変えると、「N-S」「E-W」サイドの略称とペア別戦績表を表示します。

２）表の行はボード番号で、列は、「Side」に対戦時のサイド、「Opnt」に対戦相手のペア番号、「Contract」以降に対戦データが入ります。「Rank」には「N-S」「E-W」サイド別の「何位／プレイペア数」が入り、「Tie」は同順位のペア数が入ります。「総合成績」は全ボードの成績で「戦績表」の「DIF」と順位に対応します。

３）「全ペア印刷」ボタンをクリックすると、全ペアを印刷し、「表示ペア印刷」をクリックすると、表示中のペアのみ印刷します。

８．印刷・ファイル出力画面

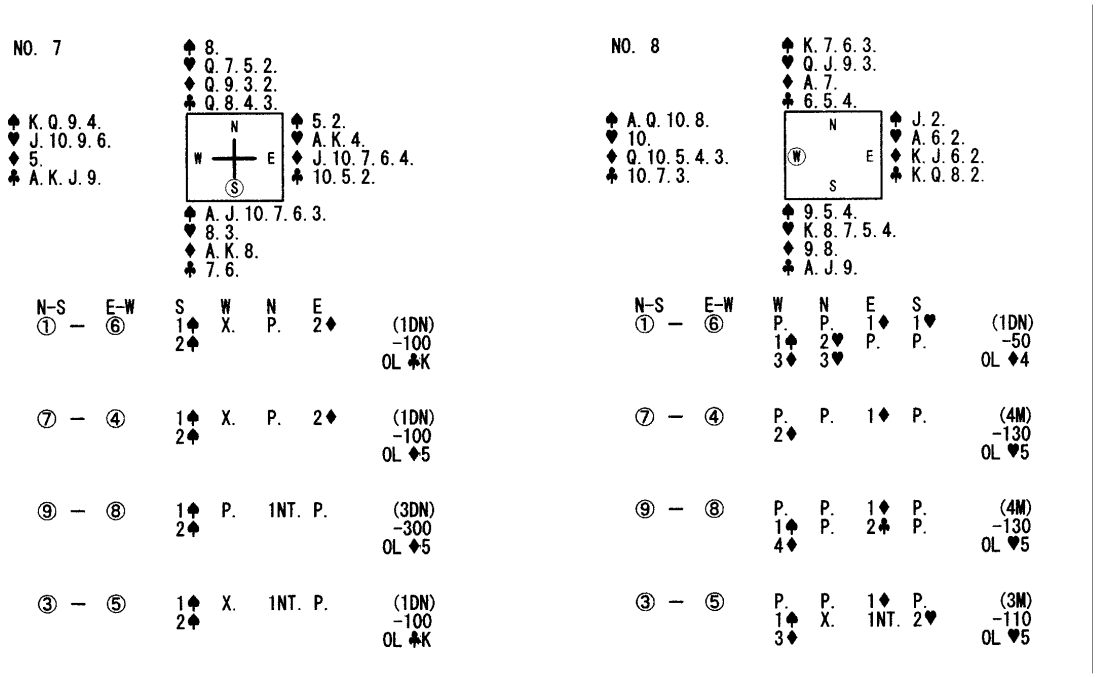
１）「メイン画面」で「印刷メニュー」ボタンをクリックすると、出力メニュー画面を表示します。



２）「総合戦績表」ボタンをクリックすると、総合戦績表を印刷します。なお、印刷内容は「７．戦績表確認画面」と同じですが、Ⅰ～Ⅴ、⑥～の順位は、一番下の枠外右側に印刷します。総合戦績表ボタンの右下の「%付」にチェックすると取得ポイント比率も印刷します。

３）「ペア別戦績表」ボタンをクリックすると、ペア別戦績表を印刷します。「全ペア」にチェックが有ると全ペア分、「ペア」にチェックが有る場合は、その右のテキストボックスに入力したペアから１ページ分印刷します。

４）「ボードデータ印刷」をクリックすると、ボードデータを印刷します。印刷したボードデータの例を以下に示します。



NO. 7

♠ 8.
♥ Q.7.5.2.
♦ Q.9.3.2.
♣ Q.8.4.3.

♠ K.Q.9.4.
♥ J.10.9.6.
♦ 5.
♣ A.K.J.9.

N
W E
S

♠ 5.2.
♥ A.K.4.
♦ J.10.7.6.4.
♣ 10.5.2.

♠ A.J.10.7.6.3.
♥ 8.3.
♦ A.K.8.
♣ 7.6.

N-S	E-W	S	W	N	E	
①	⑥	1♠ 2♠	X.	P.	2♦	(1DN) -100 OL ♣K
⑦	④	1♠ 2♠	X.	P.	2♦	(1DN) -100 OL ♦5
⑨	⑧	1♠ 2♠	P.	1NT.	P.	(3DN) -300 OL ♦5
③	⑤	1♠ 2♠	X.	1NT.	P.	(1DN) -100 OL ♣K

NO. 8

♠ K.7.6.3.
♥ Q.J.9.3.
♦ A.7.
♣ 6.5.4.

♠ A.Q.10.8.
♥ 10.
♦ Q.10.5.4.3.
♣ 10.7.3.

N
W E
S

♠ J.2.
♥ A.6.2.
♦ K.J.6.2.
♣ K.Q.8.2.

♠ 9.5.4.
♥ K.8.7.5.4.
♦ 9.8.
♣ A.J.9.

N-S	E-W	W	N	E	S	
①	⑥	P. 1♠ 3♦	P. 2♥ 3♥	1♦ P.	1♥ P.	(1DN) -50 OL ♦4
⑦	④	P. 2♦	P.	1♦	P.	(4M) -130 OL ♥5
⑨	⑧	P. 1♠ 4♦	P. P.	1♦ 2♣	P. P.	(4M) -130 OL ♥5
③	⑤	P. 1♠ 3♦	P. X.	1♦ 1NT.	P. 2♥	(3M) -110 OL ♥5

全ボードの対戦ペアの数が最大６以下の時は１ページに４ボード、対戦ペア数が７以上の時は１ページに２ボード印刷します。「全ボード」にチェックが有ると、全ボード分、「ボード」にチェックが有る場合は、その右のテキストボックスに入力したボードから１ページ分印刷します。「ハンドのみ印刷」にチェックをすると、ハンドのみ１ページに８ボード印刷します。「プレイのみ印刷」にチェックをすると、ビッド経緯とかコントラクトのプレイデータのみ印刷します。

５）「コピー枚数」のテキストボックスの数字を変更すると、印刷部数を指定できます。

６）ファイル作成の「エクスポート」をクリックすると、戦績とプレイデータのテキストファイルを作成します。このファイルは、電子メールなどの添付ファイルとして送信し、受信側の本プログラムの「インポート」でデーターベースに移入できます。

８）「Micro Bridge 用」の「トーナメント」や「ハンド」をクリックすると、「MicroBridge」で使用できるファイルを作成します。詳細は「１１．その他のファイルのインポートとエクスポート」を参照して下さい。

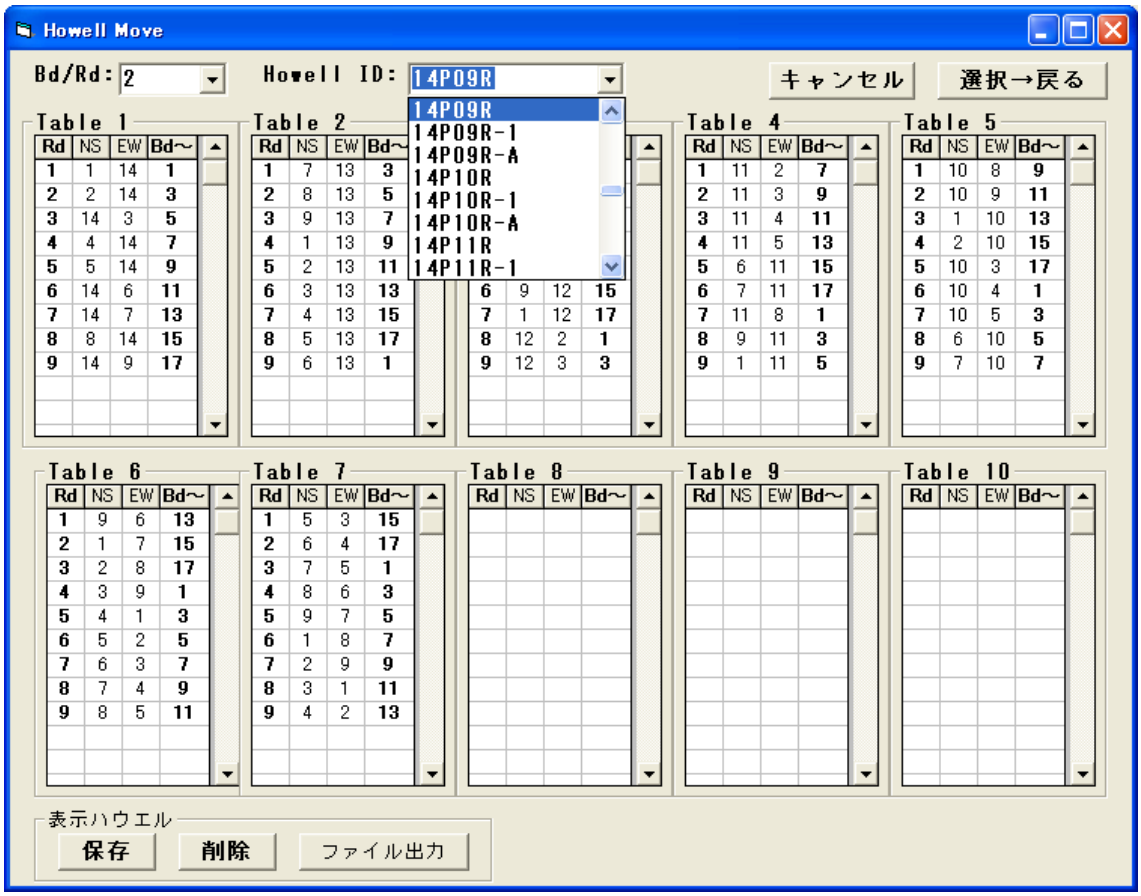
９）「パッドファイル作成」をクリックすると汎用のテキストエディタで表示・印刷可能な「戦績表」と「プレイデータ」のファイルを作成できます。「１１．パッドファイル作成画面」を参照下さい。

１０）「戻る」ボタンをクリックすると、メイン画面に戻ります。

９．Howell　Movement の登録と選択

１）「データ入力画面（ハンドとビッド入力、コントラクト入力)」で、「Howell Movement」パネルの「選択」ボタンをクリックすると下図の画面を表示します。

２)「Howell Movement」を選択する場合は、先ず、「Bd/Rd」の「↓」をクリックして、ラウンド当りのボード数を選択します。次に、「Howell ID」の「↓」クリックして、任意の「Howell ID」を選択し、「選択→戻る」ボタンをクリックします。



２）指定した「Howell Movement」が登録されていない場合は、新規に登録します。「Bd/Rd」にラウンド当りのボード数を選択し、「Howell ID」に任意の登録名を入力します。例えば「12P08R」は、12 ペア、8 ラウンドを意味します。次に、「Table 1」から順次、各テーブルのラウンド順に「NS」、「EW」のペア番号、「Bd」のボード番号（「Bd/Rd」が２以上の場合は、各ラウンドの最初のボード番号）を入力します。「表示ハウエル」枠の「保存」ボタンをクリックすると登録します。また、同名の Howell ID が既に登録済の場合は、更新します。

３）「削除」をクリックすると、「Howell ID」に表示してある登録名のデータを削除します。

４）「ファイル出力」をクリックすると表示してある「Howell ID」をファイル出力します。このファイルを電子メールの添付ファイルとして送信すると、受信側でメイン画面の「インポート」で移入できます。

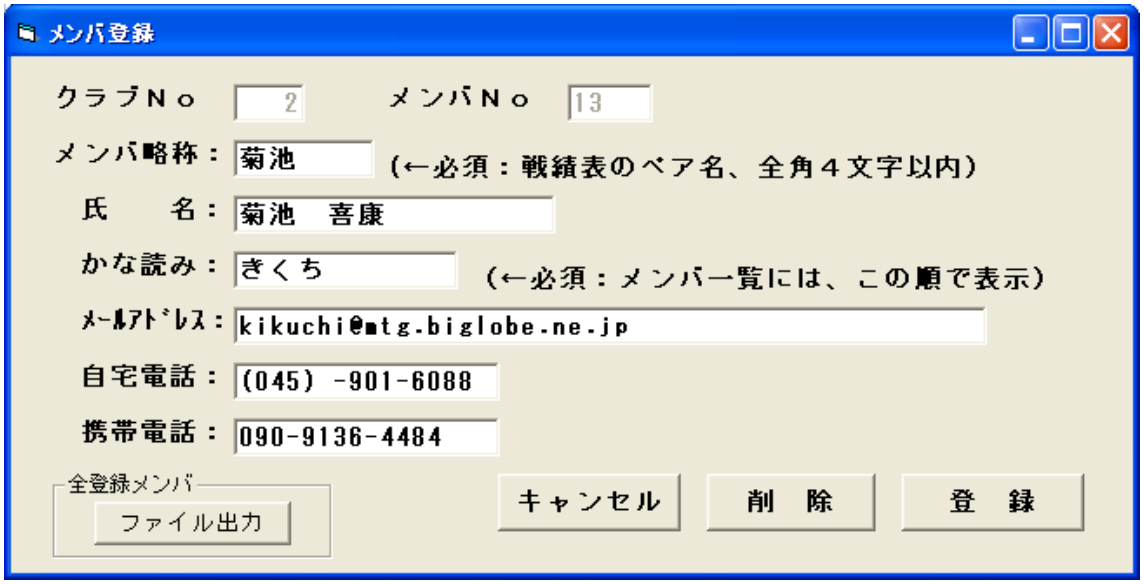
備考１：「Howell Movement」は、JCBL のホームページ（http://www.jcbl.or.jp）からダウンロードできます。

備考２：JCBL の「Howell Movement」をデフォルトで入力してあります。「Howell ID」は、テーブルガイドの偶数のペア数を「xx」、ラウンド数を「zz」とした場合、「xxPzzR」としてあります。また、プレイ時のペア数が奇数で、最後のペア「xx」が不在（休みあり）の場合は「xxPzzR-1」としてあります。

１０．クラブとメンバ登録

１）「メイン画面」で、新しい「クラブ No」を選択して、「クラブ名称」を入力すると、新規クラブを登録します。

２）メイン画面で、「メンバ一覧」リストの「略称」を右クリックすると、「メンバ登録」画面を表示します。「略称」が空白の所を右クリックすると、新規メンバの登録が可能です。



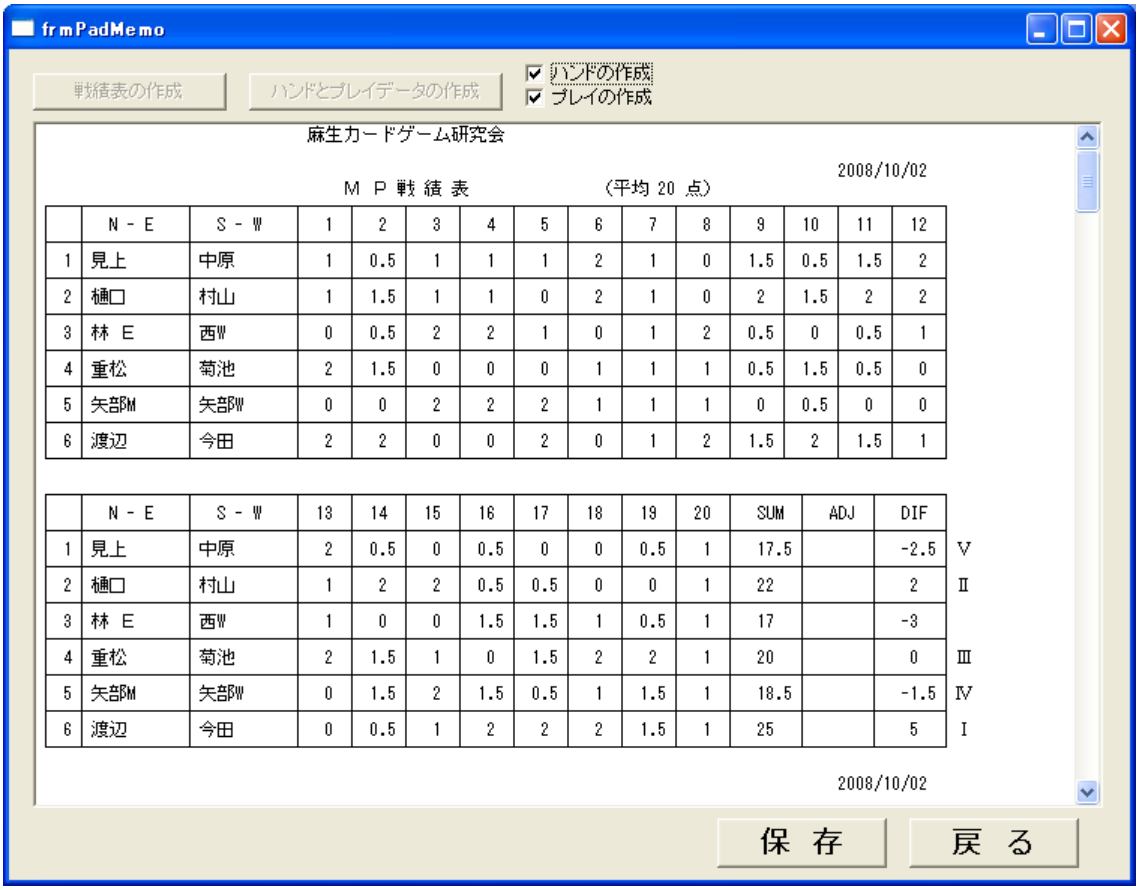
３）メンバ登録画面

- 全角４文字以内の「メンバ略称」を入力します。この「メンバ略称」は、総合戦績表の対戦ペアの名前となります。
- 以降、「氏名」「かな読み」「ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ」「自宅電話」「携帯番号」を入力します。
- 「登録」をクリックすると、データベースに登録・更新します。
- 「削除」をクリックすると、既に登録されているメンバを削除します。
- 「表示クラブ・全登録メンバ」パネルの「ファイル出力」をクリックすると、表示しているクラブ全員の登録メンバをファイルに出力します。このファイルをメールなどで送信して、受信側で「インポート」して、移入できます。
- 「キャンセル」をクリックすると、登録しないで、「メイン画面」に戻ります。

備考：「メンバ No」は自動生成します。「かな読み」の第１文字はメイン画面のメンバ一覧の「読」に表示し、左から右への表示順（あいうえお順）となります。「メンバ略称」はメンバ一覧の「略称」になります。その他の項目は、本プログラムで使用していませんので、必須ではありません。

１１．パッドファイル作成

「印刷メニュー」→「パッドファイル作成」をクリックすると以下のパッドファイル作成画面を表示します。



	N-E	S-W	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	見上	中原	1	0.5	1	1	1	2	1	0	1.5	0.5	1.5	2
2	樋口	村山	1	1.5	1	1	0	2	1	0	2	1.5	2	2
3	林 E	西W	0	0.5	2	2	1	0	1	2	0.5	0	0.5	1
4	重松	菊池	2	1.5	0	0	0	1	1	1	0.5	1.5	0.5	0
5	矢部M	矢部W	0	0	2	2	2	1	1	1	0	0.5	0	0
6	渡辺	今田	2	2	0	0	2	0	1	2	1.5	2	1.5	1

	N-E	S-W	13	14	15	16	17	18	19	20	SUM	ADJ	DIF	
1	見上	中原	2	0.5	0	0.5	0	0	0.5	1	17.5		-2.5	V
2	樋口	村山	1	2	2	0.5	0.5	0	0	1	22		2	II
3	林 E	西W	1	0	0	1.5	1.5	1	0.5	1	17		-3	
4	重松	菊池	2	1.5	1	0	1.5	2	2	1	20		0	III
5	矢部M	矢部W	0	1.5	2	1.5	0.5	1	1.5	1	18.5		-1.5	IV
6	渡辺	今田	0	0.5	1	2	2	2	1.5	1	25		5	I

１）「戦績表の作成」をクリックすると上の図の様な戦績表を作成します。

２）「ハンドとプレイデータ作成」をクリックすると上の画面の下に、ハンドとプレイデータを追加します。作成後、右のスクロールバーを操作し、その内容を確認することも可能です。

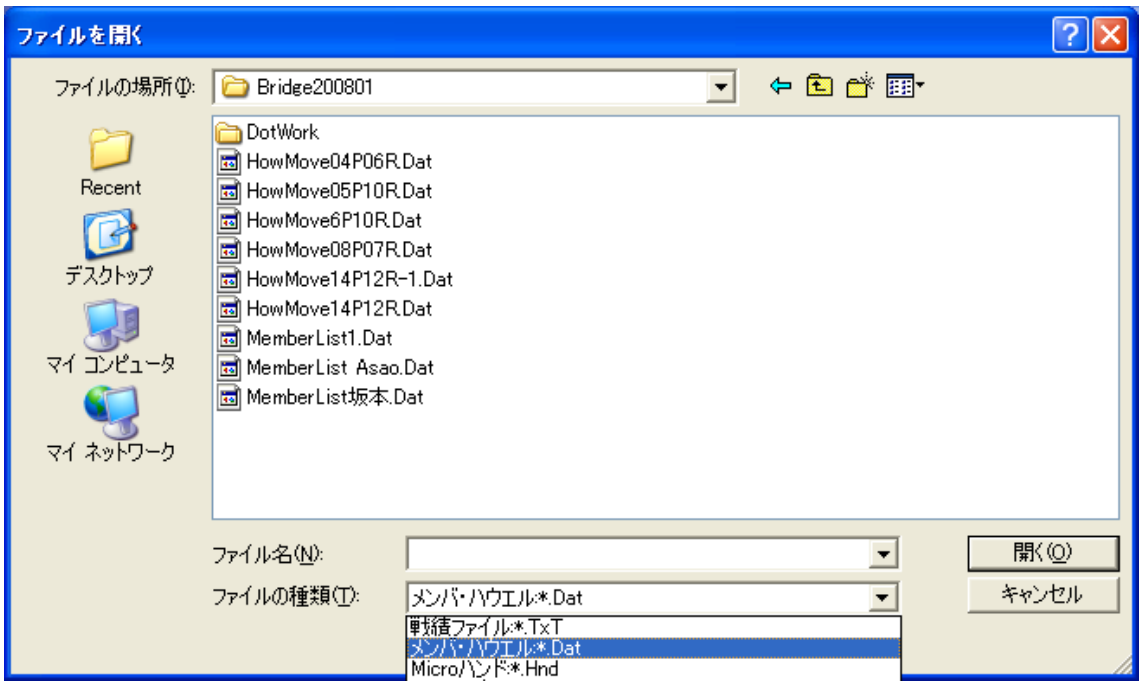
３）「保存」をクリックすると「名前を付けて保存」ダイアログを表示し、ファイルとして保存できます。このファイルを電子メールの添付ファイルとして添付できます。電子メールを受診した側での、このファイルの操作に付いては「１４．パッドファイルの表示と印刷」を参照して下さい。

４）「ハンド作成」のチェックを外すとハンドデータは作成されません。「プレイ作成」のチェックを外すとプレイデータを作成しません。

５）「戻る」をクリックすると前の「８．印刷・ファイル出力画面」に戻ります。

１２．その他のファイルインポートとエクスポート

メイン画面の「インポート」をクリックして、ファイルを開くダイアログの「ファイルの種類」の右横の▼を選択し、インポートしたいファイルの種類を選択して下さい。なお、最新の改版では、「メンバ・ハウエル」の拡張子は「.Txt」に変更しました。



1.　メンバー一覧のインポート

「１０．クラブのメンバ登録、メンバ登録画面」の「ファイル出力」で作成したファ

イルをインポートします。そのクラブの全てのメンバ表を削除し、このファイルの内容に置換えます。

2.　ハウエルムーブメントのインポート

「９．Howell　Movement の登録と選択」の「ファイル出力」で作成したファイルをインポートします。「Howell Id」で指定したハウエルのみ追加します。既に存在する場合は更新します。

3.　マイクロブリッジ・ハンドデータのインポート

ファイルの種類で「Micro ハンド：.Hnd」を選択し、「Micro Bridge 用」のハンドデータをインポートできます。その際、「ファイル名」が「プレイ年月日等」のキーとなります。

４．競技会のハンドのインポート

JCBL のホームページ（http://www.jcbl.or.jp）の「競技会」から「競技会のハンド&スコア」を開き、その表示データを「コピー&ペースト」機能で、何らかのエディタにコピーし、日付などのファイル名と拡張子を「.Hnw」として保存して下さい。本プログラムの「インポート」で、ファイルの種類を「Web ハンド:Hnw」として、そのファイルを選択します。なお、その際、「簡易」「簡易旧」などがありますが、ディストリの偏りなど場合を考慮すると「簡易旧」が無難かと思います。また、同様な形式で、「Ｎ－Ｓ」と「Ｅ－W」のペア名と「Contract」等が入ったファイルのテキストファイルのインポートも可能です。

4.　JTOS ハンドのインポート

JTOS の「HandEdit」プログラムの「ツール」→「ディール」で作成したシャッフルハンドを「ファイル」→「名前を付けて保存」で、ファイル名に日付など、拡張子を「.xhd」として保存したファイルを、本プログラムのファイルの種類「Jtos ハンド：xhd」でインポートできます。なお、JTOS プログラムで入力した「タイトル」や「デート」などは無視します。保存したファイル名を「日付等」のキーとして使用します。

５．Micro Bridge 用のハンドデータのエクスポート

「８．印刷・ファイル作成画面」で、「Micro Bridge 用」の「ハンド」をクリックすると、「MicroBridge」の「新規セッション」→「練習」や「ペア戦」→「ハンドファイルをプレーする」で利用できるファイルを作成します。

６．Micro Bridge 用のトーナメントデータのエクスポート

「８．印刷メニュー」で、「Micro Bridge 用」の「トーナメント」をクリックすると、

「MicroBridge」の「ツール」→「トーナメントデータのインストール」でインストール可能なファイル一式を作成します。複数の「プレイ年月日等」のデータを同じディレクトリに作成し、そのディレクトリ内の全てのファイルをフロッピーディスクやメモリチップなどの「MicroBridge」用のインストール媒体のルートにコピーして使用できます。ルートには、別のホールダがあっても良い様ですが、無関係なファイルが無い様にして下さい。インストール後は、「新規セッション」→「ペア戦」で選択して使用します。

備考：「MicroBridge」は、内田夫妻の作成したコンピュータ対戦ソフトです、JCBL のホームページ「www.jcbl.or.jp」でも紹介しています。なお、「MicroBridge10」と「MicroBridge11」のみ、動作を確認しています。

１３．BridgeDataPro のインストールと実行

1. 既にインストールしてある場合は、コントロールパネル→プログラムの追加と削除で「BridgeDataPro」を選択して削除してください。例えば、「Bridge Data Pro(20070826)」などと表示されています。
2. このインストール CD の「setup.exe」をダブルクリックして、インストールを実行してください。
3. インストールしたディレクトリ、例えば、「C:¥Program Files¥BridgeData」の「ブリッジデータプロ説明書.doc」をダブルクリックして、取扱説明書を表示し、必要があればプリントして下さい。
4. 同じインストールディレクトリの「BridgeDataProP.exe」をダブルクリックすると、このプログラムを実行します。なお、「BridgeDataProP.exe」で右クリックして、ショートカットを作成し、デスクトップにドラッグアウトすると便利です。
5. 実行したプログラムは、取扱説明書にしたがって操作してください。特に、４章の「１０進キーによる簡便入力法」をマスターされることをお薦めします。なお、ノート PC などの１０進キーが無い場合、外付け１０進キーパッドが比較的安価に購入できます。

１４．パッドファイルの表示と印刷（参考）

１．パッドファイルは汎用のテキストエディタで取扱えるファイルです。しかし、現在のメモ帳（NotePad)、ワードパッド、ワードでは、最適な印刷はできない様です。私の確認した範囲では「秀丸」と「TeraPad」で良好な印刷が可能でした。以下、フリーソフトの「TeraPad」の例を説明します。

２．「TeraPad」でウェブ検索し、フリーソフトの「TeraPad」がダウンロードできます。また、「www5f.biglobe.ne.jp/~t-susumu/library/tpad.html」から直接ダウンロードすることもできます。

３．インストールした「TeraPad」を実行し、「表示」→「フォント」で「ＭＳゴシック」の９ポイントに設定します。

４．保存しておいた電子メールに添付されたパッドファイルを「ファイル」→「開く」で選択し表示します。

５．「ファイル」→「印刷」から表示されるダイアログの「フォント設定」から「ＭＳゴシック」の９ポイントを設定し、「ヘッダ位置」を「なし」、「フッタ位置」を「なし」、「余白」を「左」２０、「右」１０、上「１０」、下「１０」に設定し、「適用」をクリックして、戻ります。

６．表示してある「戦績表」左上端にカーソルがある状態から、「Shift」キーを押しながら、「↓」キーを押して、「プレイデータ」の直前（「日付など」の前）まで反転し、その状態で「印刷」をクリックして、「選択した範囲」にチェックがある事を確認し、「印刷」をクリックします。同様に、プレイデータの４ボード分づつを反転して印刷します。なお、プレイデータの４ボード毎に「プレイ年日付等」を表示してありますので参照して下さい。

以　上

注：本プログラムの不具合などについては、下記までメール下さい。

kikuchi@mtg.biglobe.ne.jp